

平成 29 年 11 月 29 日

日本医学会分科会事務局 御中

日 本 医 学 会

第 7 回厚生労働省 ICF シンポジウム「ICF（国際生活機能分類）活用で拓く未来社会」
協力について（周知依頼）

平素より、本会の事業推進にご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、本会宛に酒光一章厚生労働省政策統括官（統計・情報政策担当）より、標記の依頼がありました。

本件につきまして、貴会会員へご周知をいただけますと幸いです。

関連 URL は、下記の通りになります。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/0000184883.html>

なお詳細は、厚生労働省政策統括官（統計・情報政策担当）付（担当：石山氏 TEL03-5253-1111（内線：7493））にお問い合わせ下さいますようお願い申し上げます。

本件の担当 日本医学会事務局 高橋

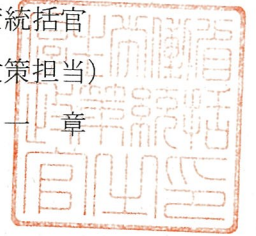
電話：03-3946-2121（内 4260）

政統発 1117 第1号
平成29年11月17日

日本医学会 殿

厚生労働省政策統括官
(統計・情報政策担当)

酒 光 一 章



第7回厚生労働省 ICF シンポジウム
「ICF（国際生活機能分類）活用で拓く未来社会」
協力について（依頼）

時下、益々御清栄のこととお慶び申し上げます。

厚生労働統計の推進につきましては、格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ICF（国際生活機能分類）は、2001年5月にWHO総会で採択されて以来、普及を促進するための研究開発が行われてきており、現在では2006年にWHO-FIC（WHO国際統計分類）ネットワークの中に設置された専門家会議であるFDRG（生活機能分類グループ）において、その改善や普及啓発、具体的な活用事例などの活発な議論が続けられています。

また、ICFは我が国においても「疾病」と「生活機能」両面からの評価を可能とする共通言語として注目を集めて、利用が進み始めているところです。

わが国におけるICFの普及と実用化を目指して、本シンポジウムをこれまでに6回開催し、普及のベースを着々と構築してきたところでありますが、こうした動向を加速化するため、今回、WHOと日本WHO国際統計分類協力センターの協力事業の一環として、WHOのICF活用のキーパーソンを招聘することとしました。

ICFの活用最前線にいる担当官が策定した行動計画の中で具体化されたグローバルビジョンを含む未来像を共有することにより、本シンポジウムを更なるICFの活用を促進するための一大契機とします。

また、一般参加者に向けてICFの活用状況を報告するポスターを公募し、会場で掲示発表することにより、ICFの普及啓発と利用者間の情報交換の場となることを期待しています。

つきましては、本趣旨にご理解を頂き、本シンポジウム開催に向けて、貴会内や関係者の皆様に対する本シンポジウム開催の周知等のご協力を賜りたく存じます。

何卒ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

第7回厚生労働省 ICF シンポジウム 概要

タイトル : 第7回厚生労働省 ICF シンポジウム
ICF (国際生活機能分類) 活用で拓く未来社会
～ひとりひとりが輝く未来社会を目指して～

開催主旨:

わが国における ICF の普及と実用化を目指して、本シンポジウムをこれまでに6回開催し、普及のベースを着々と構築してきたところでありますが、こうした動向を加速化するため、今回、WHO と日本 WHO 国際統計分類協力センターの協力事業の一環として、WHO の ICF 活用のキーパーソンを招聘することとしました。

ICF の活用最前線にいる担当官が策定した行動計画の中で具体化されたグローバルビジョンを含む未来像を共有することにより、本シンポジウムを更なる ICF の活用を促進するための一大契機とします。

また、一般参加者に向けて ICF の活用状況を報告するポスターを公募し、会場で掲示発表することにより、ICF の普及啓発と利用者間の情報交換の場となることを期待しています。

開催日時 : 平成30年1月20日(土) 12:00(開場) 13:00(開会) 16:45(閉会)

場 所 : イイノホール(住所:千代田区内幸町2-1-1)

参加費 : 無料

主 催 : 厚生労働省

協 賛 : 一般財団法人 厚生労働統計協会

後 援 : 神奈川県

協 力 : 日本医学会、公益社団法人 日本医師会、一般社団法人 日本内科学会
一般社団法人 日本病院会日本診療情報管理学会、
公益社団法人 日本看護協会、公益社団法人 日本リハビリテーション医学会、
公益社団法人 日本理学療法士協会、一般社団法人 日本作業療法士協会、
一般社団法人 日本言語聴覚士協会、日本脊髄障害医学会、
ソーシャルケアサービス従事者研究協議会、公益財団法人 テクノエイド協会、
公益社団法人 日本医療社会福祉協会、一般社団法人 日本介護支援専門員協会、
公益社団法人 日本介護福祉士会、一般社団法人 日本ソーシャルワーク教育学校連盟、
公益社団法人 日本社会福祉士会、公益社団法人 日本精神保健福祉士協会、
日本保健医療福祉連携教育学会、公益社団法人 日本障害者リハビリテーション協会、
一般社団法人 日本精神科看護協会、特定非営利活動法人 日本緩和医療学会
特定非営利活動法人 日本ソーシャルワーカー協会、
一般社団法人 日本在宅医学会、日本在宅ケア学会
一般社団法人 日本老年医学会、公益社団法人 全国老人保健施設協会

(順不同)

プログラム (案) :

- 13:00-13:05 開会挨拶
酒光 一章 (厚生労働省政策統括官 (統計・情報政策担当))
- 13:05-13:10 開会挨拶
中村 耕三 (社会保障審議会統計分科会生活機能分類専門委員会委員長)
- 13:10-14:10 基調講演
ICF を健康情報システムと統合することの重要性 (仮)
アラルコス・シエザ (WHO)
- 14:10-14:25 休 憩
- 14:25-14:40 事例紹介①
科学的裏付けに基づく介護に係る検討会について (仮)
西嶋 康浩 (厚生労働省老健局老人保健課介護保険データ分析室長)
- 14:40-14:55 事例紹介②
神奈川県での取り組み (仮)
首藤 健治 (神奈川県副知事)
- 14:55-15:10 事例紹介③
ICF の研究から (仮)
大冢賀 政昭 (国立保健医療科学院主任研究官)
- 15:10-15:25 事例紹介④
ICF の研究から (仮)
向野 雅彦 (藤田保健衛生大学医学部講師)
- 15:25-15:40 事例紹介⑤
ICF ステージング (仮)
折茂 賢一郎 (公益社団法人 全国老人保健施設協会副会長)
- 15:40-16:20 WHO とパネリストによるディスカッション
コーディネーター:
近藤 和泉 (国立長寿医療研究センター副院長)
及川 恵美子 (厚生労働省政策統括官付参事官付
国際分類情報管理室国際分類分析官)
- 16:20-16:40 質疑応答
- 16:40 閉会挨拶
森 桂 (厚生労働省政策統括官付参事官付国際分類情報管理室長)
- 17:20 ポスター掲示発表に対する個別質疑応答 (希望者)